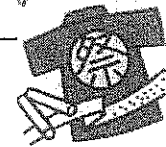




5年 組 名前( )

保護者サイン

| 教科   | 学習内容   |  | チェック |   |   |   |   |                |
|------|--|--|------|---|---|---|---|----------------|
| 国語①  | 今回の学習  | 前期期末テスト                                    |      |   |   |   |   |                |
|      | 今回の宿題  | 音読、日記、視写のプリント                              |      |   |   |   |   |                |
|      | 次回の学習  | 夏の夜、カンジー博士の暗号読解                            |      |   |   |   |   |                |
| 国語②  | 今回の学習  | 前期期末テスト                                    |      |   |   |   |   |                |
|      | 今回の宿題  | 漢字ノートに漢字テスト(いつもの20問のテスト)の書きの答えを3回以上覚えるまで書く |      |   |   |   |   |                |
|      | 次回の学習  | 則、承、織、責、故、句                                |      |   |   |   |   |                |
| 算数   | 今回の学習  | 前期期末テスト                                    |      |   |   |   |   |                |
|      | 今回の宿題  | なし   |      |   |   |   |   |                |
|      | 次回の学習  | 分数と小数、整数の関係(p.97-99)                       |      |   |   |   |   |                |
| 理科   | 今回の学習  | 前期期末テスト                                    |      |   |   |   |   |                |
|      | 今回の宿題  | なし   |      |   |   |   |   |                |
|      | 次回の学習  | 花のつくり(p.70-72)                             |      |   |   |   |   |                |
| 社会   | 今回の学習  | 前期期末テスト                                    |      |   |   |   |   |                |
|      | 今回の宿題  | なし   |      |   |   |   |   |                |
|      | 次回の学習  | わたしたちの生活と食料生産(p.86-91)                     |      |   |   |   |   |                |
| 行事など | 10月10日 前期終業式<br>10月17日 休校<br>10月24日 後期始業式                                  |  |      |   |   |   |   |                |
| 音読表  | ◎最高 ○いいね △もう少し ×がんばって  | 日  | 月    | 火 | 水 | 木 | 金 | 読んだ本の題名(何さつでも) |
|      | 気持ちをこめて読めた   |  |      |   |   |   |   |                |
|      | 大きな声で読めた   |  |      |   |   |   |   |                |
|      | ゆっくり、はっきり読めた   |  |      |   |   |   |   |                |
|      | 聞いてくれた人のサイン<br>(おうちの人、友達)  |  |      |   |   |   |   |                |
| その他  | ・夏休みの宿題を出しわすれた人は、来週までに出しましょう。<br>・9月19日に行う漢字テストのはんいは、9月5日に配った連らく表15号にあります。 |  |      |   |   |   |   | 保護者より          |









国語 前期期末テスト 10~87 各題

組 番

理科教室図書 12 /100

一文字の語をまじらう。一線の言葉は、漢字と送り仮名をまじらう。

空2点

- ① 酸<sup>さん</sup>のそ
- ② 会<sup>かい</sup>する。
- ③ 犬<sup>いぬ</sup>の<sup>と</sup>像<sup>ぞう</sup>。
- ④ 語<sup>ご</sup>の内<sup>うち</sup>の<sup>と</sup>上<sup>じやう</sup>。
- ⑤ 委員<sup>委員</sup>員<sup>員</sup>の<sup>と</sup>し
- ⑥ 軽<sup>軽</sup>する。
- ⑦ 在<sup>在</sup>。
- ⑧ 対<sup>対</sup>勝<sup>勝</sup>つ。
- ⑨ 味<sup>味</sup>深<sup>深</sup>い。

- ⑩ 賣<sup>ばい</sup>きの<sup>にん</sup>。
- ⑪ 本<sup>本</sup>。
- ⑫ 業<sup>しよく</sup>。
- ⑬ 判<sup>だん</sup>する。
- ⑭ 車<sup>しやう</sup>の<sup>と</sup>理<sup>り</sup>。
- ⑮ 家<sup>ちやく</sup>の<sup>と</sup>差<sup>さ</sup>。
- ⑯ 船<sup>ねん</sup>の<sup>と</sup>料<sup>りやう</sup>。
- ⑰ 往<sup>わう</sup>きの<sup>ふく</sup>する。
- ⑱ 梨<sup>こ</sup>の<sup>と</sup>果<sup>くわい</sup>。
- ⑳ 決<sup>けつ</sup>勝<sup>せん</sup>。

- ㉑ 度<sup>たい</sup>。
- ㉒ 理<sup>り</sup>する。
- ㉓ よい<sup>ひやう</sup>判<sup>はん</sup>。
- ㉔ 広<sup>か</sup>い<sup>と</sup>運<sup>うん</sup>。
- ㉕ 木<sup>そ</sup>の<sup>と</sup>船<sup>せん</sup>。
- ㉖ 理<sup>り</sup>大<sup>だい</sup>臣<sup>しん</sup>。
- ㉗ こん<sup>こん</sup>雑<sup>ざつ</sup>する。
- ㉘ ほ<sup>ほ</sup>う<sup>ほう</sup>告<sup>こく</sup>する。
- ㉙ 国<sup>こく</sup>の<sup>と</sup>関<sup>かん</sup>係<sup>けい</sup>。
- ㉚ 対<sup>たい</sup>する。

- ㉛ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>人<sup>にん</sup>。
- ㉜ 清<sup>けい</sup>。
- ㉝ 新<sup>せい</sup>の<sup>と</sup>品<sup>ひん</sup>。
- ㉞ 写<sup>しゃ</sup>文<sup>ぶん</sup>。
- ㉟ 験<sup>けん</sup>する。
- ㊱ 意<sup>い</sup>する。
- ㊲ 長<sup>ちやう</sup>の<sup>と</sup>小<sup>せう</sup>説<sup>せつ</sup>。
- ㊳ 旅<sup>りょ</sup>の<sup>と</sup>日<sup>にち</sup>。
- ㊴ し<sup>し</sup>持<sup>ぢ</sup>する。

- ① 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>人<sup>にん</sup>。
- ② 意<sup>い</sup>する。
- ③ 新<sup>せい</sup>の<sup>と</sup>品<sup>ひん</sup>。
- ④ 写<sup>しゃ</sup>文<sup>ぶん</sup>。
- ⑤ 験<sup>けん</sup>する。
- ⑥ 意<sup>い</sup>する。
- ⑦ 長<sup>ちやう</sup>の<sup>と</sup>小<sup>せう</sup>説<sup>せつ</sup>。
- ⑧ 旅<sup>りょ</sup>の<sup>と</sup>日<sup>にち</sup>。
- ⑨ し<sup>し</sup>持<sup>ぢ</sup>する。
- ⑩ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ⑪ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ⑫ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ⑬ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ⑭ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ⑮ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ⑯ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ⑰ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ⑱ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ⑳ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㉑ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㉒ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㉓ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㉔ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㉕ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㉖ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㉗ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㉘ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㉙ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㉚ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㉛ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㉜ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㉝ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㉞ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㉟ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㊱ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㊲ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㊳ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㊴ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㊵ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㊶ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㊷ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㊸ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㊹ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。
- ㊺ 大<sup>だい</sup>の<sup>と</sup>門<sup>もん</sup>を<sup>と</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>る。



前月 算数

5年( )組( )番 名前( )

【整数と小数】

(1) 4.72の10倍の数を書きましょう。

(2) 385の  $\frac{1}{100}$  の数を書きましょう。

【2つの量の変わり方】

(3) 次の表は、1mの重さが12gの針金の長さとう重さの関係をまとめたものです。

|             |    |    |    |   |  |
|-------------|----|----|----|---|--|
| 針金の長さ ○ (m) | 1  | 2  | 3  | 4 |  |
| 針金の重さ △ (g) | 12 | 24 | 36 |   |  |

① 針金の長さが5mのとき、針金の重さを求めましょう。

 g

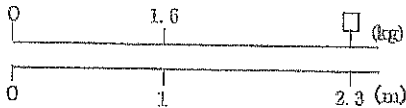
② 針金の重さが84gのとき、針金の長さは何mでしょう。

 m

【小数のかけ算】

(4) 1mの重さが1.6kgのパイプがあります。  
このパイプ2.3mの重さは何kgでしょう。

① 2.3mの重さを求める式を書きましょう。




② ①の式を筆算で計算しましょう。

③ 答えを求めましょう。

 kg

(5) 計算をしましょう。

①  $3.54 \times 2.3$

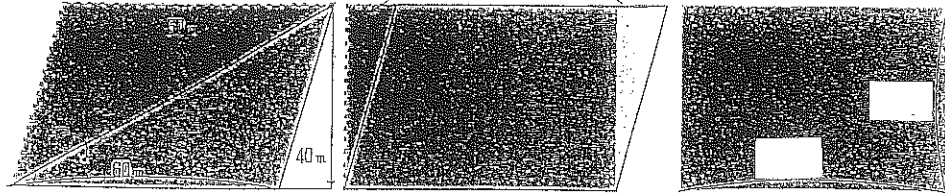
②  $0.6 \times 0.04$

2. つぎの文を読んで、下の  に数字をいれましょう。

●形を変えて広さを調べてみよう

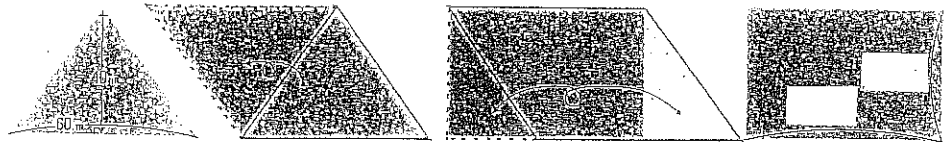
3人がおじいさんからもらうことになった土地  
そこで、3つの土地を図にかいて、それぞれ同  
が、それぞれちがった形をしているので、広さも  
じ形にして、調べてみることにします。できれば、  
ちがうように見えるのです。長方形や正方形にしてみる事です。

●まず、二郎の土地の場合



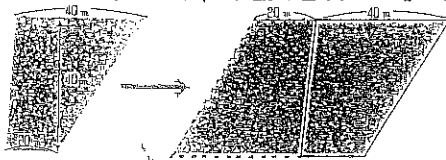
- ① 同じ三角形をひっくり返して、合わせます。すると、二郎の土地の2倍の広さになります。これは、平行四辺形ですね。
- ② 次に、図のように、平行四辺形の右側に小さな直角三角形を作って、左側に動かします。
- ③ これで、二郎の土地の、2倍の広さがある長方形ができます。

●同じように、三郎の土地を調べる



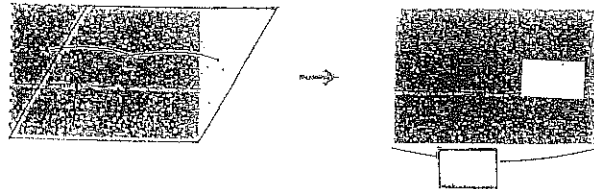
- ① 同じ三角形をひっくり返して、合わせます。
- ② 小さな直角三角形を移動します。
- ③ 三郎の土地の、2倍の広さの長方形です。

●では、一郎の土地はどうなる



- ① 一郎の土地の形を台形といいます。台形をひっくり返して合わせると平行四辺形になります。

② 平行四辺形の右から、図のように直角三角形を作って左側に移動します。



- ③ たて40m、横60mの長方形になりました。これは、一郎の土地の2倍の広さです。

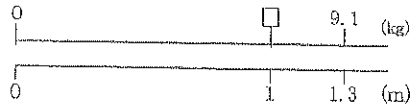
3. 一郎、二郎、三郎の土地の大きさを比べて、わかることを書きましょう。



【小数のわり算】

(6) 1.3mの鉄のぼうの重さをはかったら、9.1kgでした。この鉄のぼう1mの重さは何kgでしょう。

① 1mの重さを求める式を書きましょう。



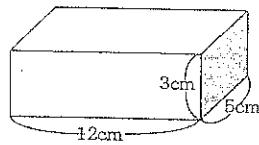

(7) 計算をしましょう。

①  $18 \div 3.6$

(8)  $8.3 \div 0.7$ の商を  $\frac{1}{10}$ の位まで求めて、あまりもだしましょう。

【体積】

(9) 下の直方体の体積を求めましょう。

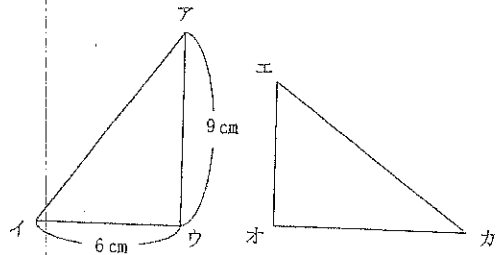



【合同】

(10) 右の2つの三角形は合同です。

① 頂点アに対応する頂点はどれですか。

② 辺エオの長さは何cmですか。



② ①の式を筆算で計算しましょう。

③ 答えを求めましょう。

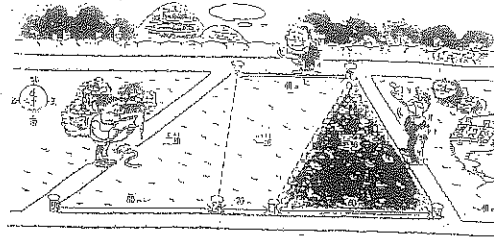
 kg

②  $8.547 \div 2.31$

みなお  
テストの見直しがおわった人は、次の問題に取りくみましょう

1. つぎの文を読んで、下の  に漢字を 20 個練習しましょう。

だれの土地が一番広い



●おじいさんの遺言

ある所に代々受けつがれてきた土地がありました。その土地の持ち主であるおじいさんは、年をとってしまったので、3人の子どもたち、一郎、二郎、三郎に、土地を分けるために、遺言を書きました。おじいさんが持っている土地は、北側と南側に、横にのびたまっすぐな2本の道で区切られています。2本の道は平行になっていました。南側の道に接するところは長さ140 m、北側の道に接するところは長さ40 mありました。2本の道のきよりは40 mありました。

そこで、おじいさんは、この土地を3人の子どもたちに平等に分けるため、次のような遺言を書きました。

「まず、南側の道にそって、西のはしから東に向かって60 mの所に点を書け。その点と北側の道にそった西のはしを結べ。そこにできる三角の土地を二郎にゆずろう。

次に、南側の道にそって、東のはしから西に向かって60 mの所に点を書け。その点と北側の道にそった東のはしを結べ。そこにできた三角の土地を三郎にゆずろう。

残った真ん中の土地は一郎へゆずろう。一郎は、2人の弟を東と西に住ませ、仲良くらせ。」

●だれの土地が大きい？

やがて、おじいさんがなくなり、遺言を見た3人の兄弟は、さっそく函をかいてみました。3人は、函を見ながら、うで組みをして考えこんでいました。やがて一郎が言いました。

「どう見てもおれの分が一番小さいみたいだ。」

それを聞いた二郎が言いました。

「いやちがう、三郎の分がおれの分より広い。これでは不公平というものだ。」

負けてはいられないと怒い三郎も言いました。

「ぼくの土地だって大きくないよ。一郎兄さんや二郎兄さんの方が大きそうじゃないか。」

おたがいに、となりの土地の方が大きく見えてしまいます。3人はどうしていかわからなくなってしまいました。

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

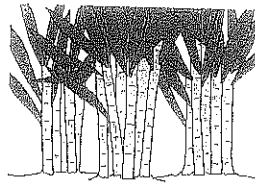
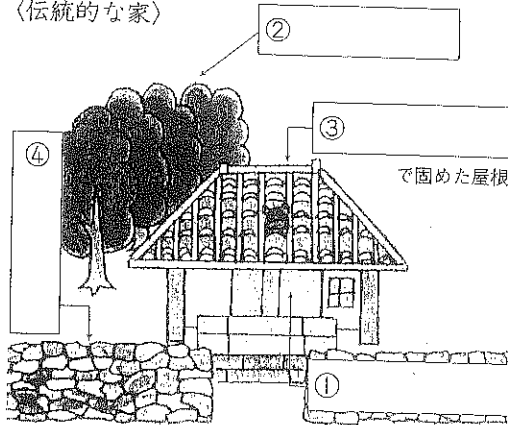
# 社会 前期期末テスト

名前( )

1問2点×50問

☆ 沖縄県で見られる様子について、あてはまる語句を□から選び、□に書きなさい。

〈伝統的な家〉



⑤の植物からは、ある調味料が作られるよ。

⑤ □ のさいばい



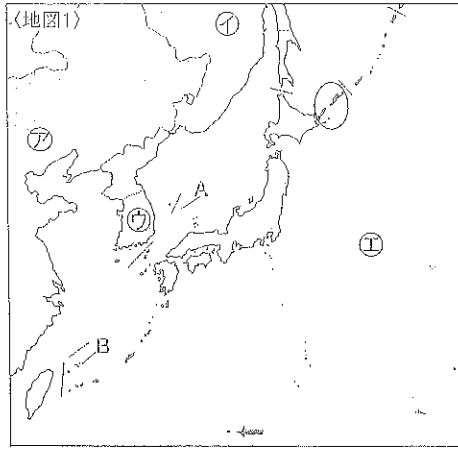
広い戸 　　しっくい  
石がき 　　さとうきび  
ぼうふうりん  
防風林

☆ 沖縄県の暮らしについて、あてはまる語句を□から選び、書きなさい。

- 1年を通してあたたかいが、(①) も多い。そのため、伝統的な家は(②) や防風林で家の周りを囲んだり、(③) で屋根を固めたりしている。最近では、(④) づくりの家も多い。
- 冬でもあたたかい気候を生かし、あたたかい気候を好む(⑤) や、ほかの地域では冬寒くて育てにくい、きくなどの(⑥) や果物のさいばいがさかんである。
- 本州に比べると冬でもあたたかいことや、美しい海などの自然が多いことから、多くの(⑦) がおとずれる。また、伝統文化や歴史が守られている。たとえば、伝統的なおどりの(⑧) や、琉球王国のころの城をよみがえらせたものである(⑨) が有名で、(⑨) は世界遺産に登録されている。

石がき    コンクリート    さとうきび    花    しっくい    エイサー  
観光客    首里城    台風

1 次の地図を見て、あとの問いに答えなさい。



(1) ⑦～④の国名を書きなさい。

- ⑦( )  
 ④( )  
 ③( )

(2) ②の海の名前を書きなさい。

( )

(3) 日本列島は、4つの大きな島を中心に、  
 たくさんの島でできています。

① 4つの大きな島を北から順にならべた  
 とき、( )に入る島の名前を書きな  
 さい。

北海道 → ( ) → 四国 → ( )

② 〈地図1〉中の、○で囲んだ、現在①  
 の国に占領されている島々のことを何  
 といいますか。( )

③ 〈地図1〉のAとBを自国の領土だと主  
 張している国を、⑦～④の記号で書き  
 なさい。 A( ) B( )

④ 〈地図1〉中に~~▲~~で示した、日本の南のはしにある島の名前を書きなさい。

( )島

☆ 次の文の( )にあてはまる語句を [ ] から選び、書きなさい。

大きな川の(① )には、水面より土地が低い(② )が見られ  
 る。川と川にはさまれた(③)としては、岐阜県海津市の(④)  
 が有名である。

川よりも土地が低いため、(⑤)の人々は(⑥)を築いたり、川の流  
 れを整えたりする(⑦)工事を行い、洪水を防ぐ努力をしてきた。

人々は、洪水にそなえて、石垣を組んだ高いところに(⑧) )や水倉とい  
 った建物のほか、近年は大型の(⑨) )場を建てて、余分な水を堤防の外  
 に出すくふうをしている。

土地が低く、水はけが悪い(⑩)では、以前から(⑪) )がさかんだが、水  
 はけをよくする努力により、畑や果樹園としても利用できるようになった。

米づくり 輪中 下流 堤防 排水機 低地 水屋 治水

★ 次の地図中の地形の名前を [ ] から選び、 [ ] に書きなさい。

山地・山脈  
 川  
 平野

① [ ]  
 ② [ ]  
 ③ [ ]  
 ④ [ ]  
 ⑤ [ ]  
 ⑥ [ ]  
 ⑦ [ ]  
 ⑧ [ ]

赤石山脈  
 奥羽山脈  
 九州山地  
 中国山地  
 濃尾平野  
 関東平野  
 利根川  
 信濃川

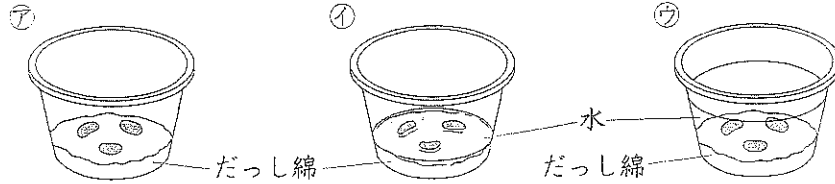
②と⑥は川、③と⑧は平野だよ。それ以外は山地か山脈だよ。

★ 次の文の( )にあてはまる語句を [ ] から選び、書きなさい。

- 日本の地形を見わたすと、(① )よりも(② )の方が多く、特に(②)は日本列島の(③ )部分にせぼねのようになっている。  
 そのため、南東からの季節風がふく夏は、(④ )側で雨が多く降り、北西の季節風がふく冬は(⑤ )側で雪や雨が多く降る。  
 日本は、春・夏・秋・冬という(⑥ )があり、気候の変化に応じて衣服や食事などをくふうしてきた。また、5月から7月にかけて(⑦ )という雨の多い時期が、夏から秋にかけては(⑧ )が多くやってくる時期があるため、災害を防ぐくふうも行われている。  
 日本列島は(⑨ )に細長いため、北と南で(⑩ )がちがいで見られる。また、海や内陸といった場所のちがいで(11)は変わる。

|     |        |    |    |    |
|-----|--------|----|----|----|
| 日本海 | つゆ(梅雨) | 中央 | 気候 | 山地 |
| 太平洋 | 台風     | 南北 | 四季 | 平地 |

1. とうめいな 3 つの容器 ㉞、㉟、㊱ にだし綿をしき、インゲンマメの種子を入れました。㉞ はそのまま、㉟には種子が空気にふれるぐらいに、㊱ は種子がしずむまで水を入れ、あたたかい部屋の中に置きました。

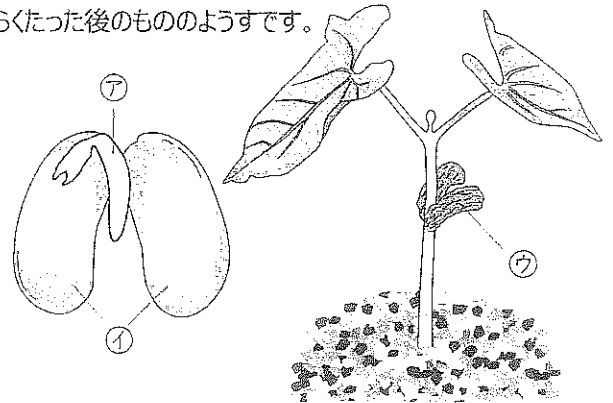


- (1) 芽が出る種子は、㉞～㊱のどれですか。 ( )
- (2) 植物の種子が芽を出すことを何といいますか。 ( )
- (3) この実験で、同じにした条件は何ですか。下から選びましょう。 ( )

|    |   |    |    |
|----|---|----|----|
| 温度 | 水 | 空気 | 日光 |
|----|---|----|----|

2. 下の図は、インゲンマメの種子をたてに 2 つに切ったものと、発芽してしばらくたった後のものようすです。

- (1) ㉞と㉟にヨウ素液をつけました。  
色が変わるのはどちらですか。 ( )
- (2) (1) のとき、何色に変わりますか。  
( )
- (3) 発芽するときの養分がふくまれているのは、㉞と㉟の  
どちらですか。 ( )



- (4) (2) の色が変わることから、何という養分がふくまれていることがわかりますか。 ( )
- (5) ㊱を切って、切り口にヨウ素液をつけました。発芽前の種子の切り口につけたときと比べて、色のこさはどうなりますか。  
正しいものに○をつけましょう。
- ① ( ) こくなる    ② ( ) 同じこさである。    ③ ( ) うすくなる。

(6) (5) から考えて、種子にふくまれていた養分は、どうなったといえますか。□の中にあてはまる言葉をかきましょう。

種子の中のでんぷんが、。

3. インゲンマメの発芽と成長の条件について、次の問いに答えましょう。

- (1) 発芽に必要な条件を 3 つ書きましょう。  
( ) ( ) ( )
- (2) 発芽した後によく成長するために必要な条件を 3 つ書きましょう。  
( ) ( ) ( )

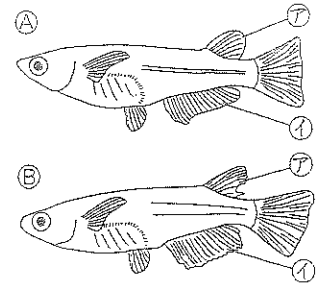
4. 右の図は、メダカのおスとメスです。次の問いに答えましょう。

(1) たまごを産むメダカは、AとBのどちらですか。記号で答えましょう。( )

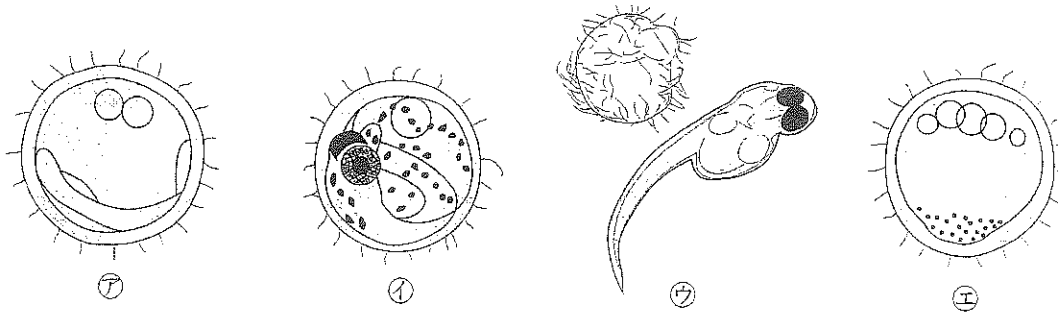
(2) 精子をだすメダカは、AとBのどちらですか。記号で答えましょう。( )

(3) 次の文の( )にあてはまる言葉をかきましょう。

( )が産んだたまごと( )が出す精子が結びつくことを  
( )といい、この結びつきでできるものを( )という。



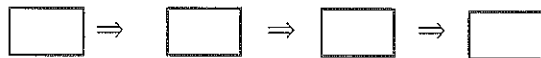
5. 下の図は、メダカのとまごの変化を記録カードにかいたものです。次の問いに答えましょう。



(1) 次の①～④の文は、上の記録カードの(ア)～(エ)にかかれていたものです。それぞれどれにかかれていたものですか。記号で答えましょう。

- ① ( ) たまごはとうめいで、周りに細い毛があった。メダカの形はまだ見られなかった。
- ② ( ) 心臓がびくびく動いているのがわかった。赤い血が流れているのも見えた。
- ③ ( ) 何となく、メダカの形をしたものが見えてきた。たまごの大きさは、変化しないようだ。
- ④ ( ) たまごのまくが破れて、子メダカが出てきた。はらにふくろのようなものをつけている。

(2) ア～エの記録カードをたまごの変化する順にならべましょう。



(3) かえったばかりの子メダカのはらにあるふくろには、何がまっていますか。( )

6. けんび鏡について、次の問いに答えましょう。

(1) 次の部分は右の図のけんび鏡のA～ウのどこですか。

調節ねじ ( ) レボルバー ( ) 接眼レンズ ( )

(2) けんび鏡の使い方、正しい順に番号をつけましょう。

- ( ) 横から見ながら、対物レンズとプレパラートをすれすれまで近づける。
- ( ) 反しや鏡を動かして、明るく見えるようにする。
- ( ) プレパラートをステージに置き、クリップで留める。
- ( ) 接眼レンズをのぞきながら、調節ねじを回して、ピントを合わせる。

